

聖書的自己像・イエス様に似姿に向かって

1. 聖書的自己像の基盤(愛されている存在)

「あなたこそ私の内臓を造り母の胎の内で私を組み立てられた方です。

私は感謝します。あなたは私に奇しいことをなさせて恐ろしいほどです。私のたましいはそれをよく知っています。」

詩篇 139篇 13~14節

聖書的自己像は、「自分は何ができるか」ではなく、「神様に造られた」という存在そのものに価値がある。

1

聖書的自己像・イエス様に似姿に向かって

2. イエス様の似姿へ(変えられる成長)

「神は、あらかじめ知っている人たちを、御子のかたちと同じ姿にあらかじめ定められたのです。それは、奥の兄弟たちの中で御子が長子となるためです。」ローマ 8:29

2

聖書的自己像・イエス様に似姿に向かって

「私たちはみな、覆いを取り除かれた顔に、鏡のように主の栄光を映しつつ、栄光から栄光へと、主と同じかたちに姿を変えられていきます。これはまさに、御霊なる主の働きによるのです。」

コリント人への手紙第二 3章 18節

「似姿」:イエス様の愛、優しさ、謙遜さ、そして従順さ
聖霊の働きによって変えられていくプロセス

3

聖書的自己像・イエス様に似姿に向かって

分かち合い

聖書は、私たちは「神に愛されている尊い存在」

自分の価値を低く見てしまう時はどんな時ですか？

イエス様の似姿について:イエス様の性格で(愛、赦し、忍耐)

自分に欠けている、または成長させられたいと思う部分は？

イエス様の似姿に変えられていると思うところ？
